

「よりよい生活や人間関係を構築する学級経営の充実をめざして」

岐阜教育事務所

1 はじめに

2学期以降の要請訪問では、多くの学校で「学級経営の視点」を位置付けて、全校研究会で話題とさせていただきます。授業者と子どもの信頼関係が構築され、心が解放された中で伸び伸びと学習する多くの児童生徒に出会うことができました。

2 2学期の実践の振り返りから

「要請訪問の様子から」とらえた1. 2学期の様子です。 「自己点検」しながら冬季休業以降の取組に生かしましょう。			要請訪問の様子から		自己点検
			1学期	2学期	
学習集団の育ち	1	欠席者の机やプリントが大切にされている。	○	◎	
	2	先生や仲間の話を最後まで集中して聞いている。	◎	◎	
	3	先生や仲間に対して素直に反応して聞いている。	◎	◎	
	4	仲間に分かってもらおうと、相手意識をもって発言している。	○	○	
	5	分からないことを分からないと意思表示できる。	△	△	
	6	仲間の考えとかかわらせながら考え、発言している。	○	○	
	7	互いのよさやがんばりを認め合っている。	△	○	
	8	自分と違う考えも大切にしている。	○	○	
	9	つまずいた仲間に寄り添い、真剣に教えている。	△	○	
	10	自分たちで学習をつくり上げようという姿勢がある。	△	○	
	11	教科に関する係が積極的に働きかけている。	△	△	
	12	働きかけに応えようとする組織的な動きがある。	△	△	
掲示 所属感や学級の文化を高める教室	1	時期はずれ、破れ、はがれ等がなく、美しく整えてある。(環境)	○	○	
	2	よさや役割分担など、一人一人が位置付いている。(人権感覚)	◎	◎	
	3	質の高い作品が工夫して展示・掲示している。(文化性)	○	○	
	4	学級目標等、目指す姿が具体的に示されている。(方向性)	○	○	
	5	係や委員会活動の動きや工夫が分かり、生き生きしている。(躍動感)	△	○	
	6	学級目標とつないで、学級の取組や財産が学級の歩みとして累積され、意味付けや価値付けがなされている。(集団性)	△	○	
導 結ぶ教師の指 個を大切に、 個と個・集団を	1	どの子に対しても平等な評価や言葉かけをしている。	◎	◎	
	2	悪ふざけや嘲笑を許さない指導姿勢が感じられる。	◎	◎	
	3	取組のよさを学級目標と結び付けて価値付けている。	△	○	
	4	個の努力を価値付けている。	◎	◎	
	5	仲間のよさを価値付けている。	○	○	
	6	作品に温かな朱書きが入れている	○	○	

「2学期の実践の振り返り」の分析より

○1学期に比べて改善されたと考えられる内容から

- ・学級目標とつないだ振り返りが、定期的にあるいは日常的に行われ、価値観を共有し合う中で学級集団として高まりつつある学級が多い。
- ・学級の歩みが、具体的な事実に基づいて掲示として蓄積されている学級が多い。
- ・小集団での学び合いや教え合いの中で、仲間同士のかかわり合いが醸成されつつある。

※改善に至る要因として考えられること

- ・担任として、学級目標の具現をめざした経営が意図的・継続的に行われている。
- ・仲間同士でかかわる場を意図的に設定し、共に学ぶよさを実感させる経営が行われている。

3 3学期の実践につなぐ指導の充実

《 冬季休業中は… 》

1 児童生徒への働きかけ

(例) 年賀状等を活用し、温かいメッセージを届ける。

(例) 特に配慮を要する児童生徒には、電話や家庭訪問等により様子を把握し、よいスタートが切れるよう配慮する。



3学期はこんな児童生徒が増えてきます！！

- ・ 正月以降、生活リズムが崩れてしまう児童生徒
- ・ 進学、進級に不安を抱える児童生徒
- ・ 欠席がちな児童生徒
- ・ 家にこもりがちで、ゲームやTVに夢中になる児童生徒

そのために

児童生徒一人一人に「3月にはこんな姿になってほしい」という出口の姿を描いて、始業式の準備をしましょう。

《 3学期のスタートにあたって 》

1 教師の願いを語る（4月の第一声、2学期の振り返りと関わらせて）

- ・ これまでの学級の宝物をさらに伸ばしていくこと。
- ・ 残された時間で、この学級の課題を全員で克服すること。
- ・ 次の学年や卒業後を意識しながら学校生活を送ること。

2 児童生徒の願いに基づいた目標の設定

- ・ 学級の課題を再度確認し、具体的な手立てを考え、次学年や卒業後をも見通した目標を設定する。
- ・ 生活面と学習面における具体的な目標を児童生徒が設定する。

3 一人一人が存在感と成就感をもつことのできる学級組織の工夫

- ・ 学級委員や班長などリーダーの育成
(例) 学級目標の達成に向かい、学級をまとめていくための具体的な動き方の指導や励まし
- ・ 班構成の工夫
(例) 学級の仲間同士のかかわりを考え、支え合い高まり合える班の決定
- ・ 担当係や当番活動などの充実
(例) 自分のよさを生かし、係や当番の活動内容を工夫できるよう助言



《 3学期の学級経営を充実させるために 》

1 充実感や達成感を味わわせる行事や学級での取組

- ・ 「大縄集会」など行事を開催する際に、達成目標を決めて全員で取り組む。
- ・ 「あいさつ運動」「チャレンジスポーツ in ぎふ」など学級（学年）独自の取組を展開する。
- ・ 組織的な動きが生み出せるよう係会等を意図的・計画的に行う。

2 1年間のゴールの姿や次学年を意識した定期的な振り返り

- ・ 学校生活における子どものすばらしい姿を、適時価値付ける。
(例) 願いをもって「地道に」努力する姿や仲間のために「誠実に」活動する姿など
- ・ 特別活動の時間等に、学級や個人の目標を振り返る時間を確保する。

3 一人一人が自分の存在を実感でき、「分かる授業」の実施

- ・ 実態分析を十分に行い、個への支援の充実を図る。
(例) 机列表を使用した個別指導、予想される個のつまずきに対する手立ての準備

